

おくすり Q&A

糖尿病のお薬「SGLT2 阻害薬」について

現在、糖尿病の治療には様々な作用のお薬が存在し、患者さんの年齢や生活スタイル、基礎疾患の有無に合わせて選択することが可能になってきています。今回はその中でも「SGLT2 阻害薬」というお薬についての疑問にお答えしようと思います。

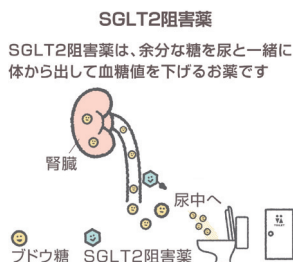
Q. SGLT2 って何ですか？

A. 血液に含まれるブドウ糖は、腎臓の中の糸球体*で血液からろ過された尿（原尿と言います）の中に出た後、尿細管*で取り込まれて血液に戻ります。（再吸収と言います）

この結果、健康な人では排泄される尿の中に糖は出てきません。このブドウ糖の取り込みで働いているのがナトリウム・グルコース共輸送体 SGLT2 というタンパク質です。

※糸球体：血液の中の老廃物や塩分をろ過し、尿として体外に排出させます。細い毛細血管が毛糸玉のように丸まってできているので糸球体と呼ばれています。

※尿細管：糸球体でろ過された尿はおよそ 150 リットルにもなりますが実際の尿は 1.5 リットルほどです。それはつまり 99%の尿は腎臓で再吸収されていることになります。この再吸収に関わっているのが尿細管です。



Q. どんな作用機序のお薬ですか？

A. SGLT2 の働きを抑え、尿細管でブドウ糖が血液に戻らないようにしてブドウ糖を尿に排泄させます。糖とともに水分も一緒に排泄されるため、尿の量が増えます。つまり SGLT2 阻害薬は余分な糖を尿と一緒に体外に出して血糖を下げるお薬です。

また、血糖値を下げるだけでなく体重、血圧、尿酸、脂質の低下、また将来的な心筋梗塞や脳梗塞のリスクをも低下させます。

Q. 副作用など注意することはありますか？

A. ① 脱水症状

尿の回数や量が増えることによって体の中の水分が少なくなりすぎる、脱水を起こすことがあります。のどの渇き、だるさ、尿量の減少などの症状があらわれます。高齢の方は症状を自覚しにくいこともあり、特に注意が必要です。このお薬を服用している間はこまめな水分補給を心がけましょう。

② 尿路感染・性器感染

膀胱炎、尿道・膣の感染症などが起こることがあります。とくに尿道の短い女性は注意が必要です。陰部を日々のお風呂やシャワーで流し、トイレのあとは清潔に保ちましょう。

③ ケトアシドーシス

ケトアシドーシスはケトン体の蓄積により体が酸性に傾いた状態を言い、悪心、嘔吐、倦怠感、腹痛、呼吸困難などの症状があらわれます。これらの症状があればすぐに医療機関に相談しましょう。栄養不良や極端に糖質制限をしている方はより注意が必要です。

④ 低血糖

このお薬はインスリン分泌を促さないため単独で用いた場合は低血糖のリスクは低いですが、インスリンや他の経口糖尿病薬を服用している場合は空腹感、めまい、ふらつき、動悸、脱力感、冷や汗などの低血糖症状が出る恐れがあります。これらの症状があればブドウ糖や飴などを摂取し早めに対処しましょう。

執筆薬剤師 濱中 亜寿香

わたしの健康とくすり

第312号



撮影／田中 晴美

今月の内容

- ・ 疾患シリーズ 肝炎について：肝炎の予防 《連載・第4回目》
- ・ ちょっとお耳を…… 脳梗塞のサインを見逃さない ～ ACT FAST の合言葉～
- ・ おくすり Q & A 糖尿病のお薬「SGLT2 阻害薬」について

2022年1月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

肝炎について：肝炎の予防

第4回目は、肝炎の予防について解説します。ウイルスの感染による肝炎の場合には予防法があります。A型、B型肝炎の予防法としてワクチンやヒト免疫グロブリン投与があります(図1)。

ワクチンは、失活させた病原体(不活化ワクチン)を投与し、抗体であるIgG型抗体(抗体)を体内で獲得します。**ヒト免疫グロブリン**は、病原体に対して防御効果のあるグロブリン(抗体)を直接投与することで効果を発揮します。これらの二つの予防法のうち、より長期に渡り予防効果が持続するのはワクチンです。A型肝炎の場合は、衛生環境の悪い国などへ渡航する場合などに予防投与します。B型肝炎の場合は、未感染者であれば誰でも予防投与できます。感染しやすい医療従事者や警察官などには積極的に予防投与されます。また垂直感染による母子感染の場合には、母子感染防止事業に基づく定期接種により近年、無症候性キャリアからの肝炎の発症も著明に減少しています。以前は、輸血によってB型、C型肝炎の感染が見られることがありましたが、現在はスクリーニング方法が進歩、徹底されるようになり、ほとんど見られることはなくなっています。更に感染している人は、自身が感染していることを自覚し、他人に感染をさせないような対応を日常の中で注意することも大切です(図2)。次回は、肝不全について解説します。

図1

	肝炎ウイルス	A型肝炎	B型肝炎
予防法	グロブリン	HA抗体を含むヒト免疫グロブリン	抗HBsヒト免疫グロブリン(HBIG)
	ワクチン	HAワクチン(1~3回接種)	HBワクチン(3回接種)

図2

感染リスクが高い行為、低い行為



感染させないための注意点


- 傷口はばんそうこうやガーゼで完全に覆う
- 血液や分泌物の付着したものは、しっかり包んで捨てるか、十分に洗浄する
- 外傷、皮膚炎、鼻血、月経血などはできるだけ自分で手当てをする
- 入れ墨はしない
- 食物などを口移ししない
- 献血は避ける

ちょっとお耳を…… 脳梗塞のサインを見逃さない～ACT FASTの合言葉～

- 脳梗塞は文字通り、脳に梗塞が起きる病気です。ある部分で血管が詰まり、その先に血液が流れなくなってしまいます。脳梗塞はよく『一刻を争う病気』と言われますが、その理由は主に次の2つです。
 - ▶ 早期に治療を開始することで脳のダメージを最小限にできる
 - ▶ 脳梗塞の治療に時間の制約がある
- 血流が止まると脳細胞は栄養をもらえず次々死滅してしまい、手足の麻痺や言語障害など重い後遺症が残ることや、最悪の場合死に至ることもあります。そこで、脳細胞が死んでしまう前に血の塊を溶かす、または取り除く治療が行われますが、これらには時間の制約があり、決められた時間を超えたと行えません。
- 米国脳卒中協会ではACT FAST(アクトファスト)という合言葉を提唱しており、日本でも広く認知してもらうための活動が行われています。FAST(早く)は3つのテストであるFace(顔)、Arm(腕)、Speech(言葉)と、Time(時間)の頭文字をとったもので、ACT(行動)と合わせいち早く行動するよう呼びかけるものです。


Face

うまく笑顔が作れますか?
△顔の片側が下がる、ゆがむ時は異常が起きている




Arm

手のひらを上にして両腕を水平にあげてキープできますか?
△片腕だけ下がってくる、力が入らない時は異常が起きている



Speech


いつも通りしゃべれますか?
△話せない、呂律が回らない、言葉を理解できない時は異常が起きている



ACT 行動!

Time

Face、Arm、Speechの異常
これらの症状が1つでもあれば脳梗塞の可能性あります。
症状に気が付いたら発症時間を確認し、すぐに119番!



- 脳梗塞が早期発見・早期治療開始されるためにACT FASTの合言葉は家族や友人みんなで共有することが大切です。命が守られ後遺症を軽減できるよう、互いに助け合いましょう。